



▲栖本地区コミュニティセンターのイルミネーション

イルミネーションを楽しんで!

栖本地区のイルミネーション

12月7日、栖本地区コミュニティセンターや国道266号沿いの“じゅうえん公園”にイルミネーションの飾り付けが行われました。栖本地区振興会が毎年実施しているもので、地元の風物詩となっています。この日は、同地区振興会会員10人が、約5,000個の電球を色のバランスに気をつけながら飾り付けていました。同会員は、「皆さんに楽しんでもらいたいです」と話していました。

イルミネーションの点灯期間は、1月11日㊿までの午後5時から同10時までです。

大浦地区振興会が農林水産大臣賞!

豊かなむらづくり全国表彰

有明町の大浦地区振興会が11月18日、国の「豊かなむらづくり全国表彰事業」で「農林水産大臣賞」を受賞しました。農林漁業の振興や地域活動がんばっている団体を表彰しているもので、同振興会が取り組んでいるミカンの木やタコつぼ、ひと網オーナー制度が都市住民との交流や地域の大きなPRにつながっていることが高く評価されました。

津崎勝志会長は、「今後も協力しながら豊かなまちづくりをしていきたいです」と話していました。



▲表彰式後に記念の1枚

離島の魅力を発信

アイランダー2014

全国の離島の住人たちが一堂に集い、都市圏へ島の魅力を発信するイベント「アイランダー2014」が11月22・23日、東京都の池袋サンシャインシティ文化会館で開かれ、御所浦町から市職員など5人が参加しました。天草の情報発信や同町の特産品であるチリメンの試食コーナー、化石のレプリカ（複製）作り体験コーナーなどを設置。チリメンを試食した来場者は、「とてもおいしいですね」と話していました。



▲チリメンを試食する来場者

世代を越えて交流を深める

世代間交流事業

11月21日、「世代間交流事業」が五和小学校体育館で行われ、同校の4年生67人と地元の高齢者40人が参加しました。子どもたちと高齢者の交流の場をつくろうと、市社会福祉協議会五和支所が初めて実施したもので、豆運びやお手玉投げ、じゃんけん大会が行われ、子どもたちと高齢者は楽しそうに取り組んでいました。また、昼食をいっしょに食べて交流を深めていました。



▲一列に並んで豆運びをする子どもたちと高齢者

全日本仮装大賞で優勝を目ざしてがんばるぞ!

本渡東中学校の生徒の保護者と教職員が全日本仮装大賞に出場

本渡東中学校の生徒の保護者と教職員の10人が、「第92回欽ちゃん&香取慎吾の全日本仮装大賞」（1月12日㊿の午後7時から熊本県民テレビ（KKT）で放送予定）の出場権を獲得しました。子どもたちに夢の実現に向かって努力することの大切さを知ってもらいたいとの思いから出場を目ざすことを決意。書類審査や九州地区予選を通過し、11月に行われたビデオでの最終審査で全国70チームの中からみごと選ばれました。チーム代表の明瀬実さんは、「優勝を目ざしてがんばってきます」と意気込みを語っていました。



▲出場者の皆さん

ハンセン病について学ぶ

ハンセン病をめぐる講演会

11月15日、河浦地区公民館主催の「ハンセン病をめぐる講演会」が一町田地区コミュニティセンターで行われ、123人が来場しました。ハンセン病療養所退所者の会“ひまわりの会”会長の中修一さんが、「ハンセン病をめぐる人権」と題して講演。差別の歴史やみずからの体験談などを話され、来場者は真剣な表情で聞いていました。



▲講演をする中さん